

令和 8 年度 昭島市立清泉中学校
技術 年間指導計画・評価規準〔第 1 学年〕

学期	月	時数	単元名と内容	単元のねらい	観点別評価規準(主たるもの)		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1 学期	4	2	ガイダンス	技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考える。 技術の進展と環境との関係について考える。			技術が生活の向上や産業の発展に影響を与えていることに気づき、その役割に関心を示す。 3年間の技術分野の学習に見通しを持つとともに、社会でもののづくりの流れと学習内容を関連づけてまとめようとしている。
	5	4	生活や社会を支える材料と加工の技術	材料の特徴と利用方法を知ること。 材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できること。	身の回りのさまざまな製品に使われている材料を加工する技術についての知識を身につけ、具体的に説明できる。 材料と目的とする加工に応じた工具や機器を安全に使用し、簡単な製作品を製作できる。	身の回りの材料の特徴を利用し、よりよい生活環境を考え、改善することができる。	身の回りの製品に使われている材料について、材料の種類や使われている理由を調べ、材料に求められることについて考えようとしている。 進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
	6	3	生活や社会を支える生物育成の技術	生物の育成に適する条件と生物育成環境を管理する方法を知る。	生物を育てるための技術と、生物を健康に育てるための3つの要因の関係についての知識を身につけている。	よりよい社会を築くために、生物育成の技術を適切に評価し活用している。	すすんで生物育成の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
	7	3	生活や社会を支える生物育成の技術	生物の育成に適する条件と生物育成環境を管理する方法を知る。	生物を育てるための技術と、生物を健康に育てるための3つの要因の関係についての知識を身につけている。	よりよい社会を築くために、生物育成の技術を適切に評価し活用している。	すすんで生物育成の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
2 学期	9	3	材料と加工の技術による問題解決	使用目的や使用条件に即した機能と構造について考えること。 構想の表示方法を知り、製作図をかくことができること。	等角図やキャビネット図、第三角法の描き方、寸法線や寸法補助線などについての知識を正確に身につけている。 製作品の構想を等角図、キャビネット図および第三角法などで描き表すことができる。	製作品を使う場所や使いやすさ、形や大きさ、丈夫にするための工夫をしている。 友達との構想や意見を取り入れながら、よりよい構想を具体化している。	自分の生活を振り返り、問題点を見つけて改善するためにさまざまな情報を収集し、自分の製作品を考えようとしている。
	10	3	材料と加工の技術による問題解決	使用目的や使用条件に即した機能と構造について考えること。 構想の表示方法を知り、製作図をかくことができること。	等角図やキャビネット図、第三角法の描き方、寸法線や寸法補助線などについての知識を正確に身につけている。 製作品の構想を等角図、キャビネット図および第三角法などで描き表すことができる。	製作品を使う場所や使いやすさ、形や大きさ、丈夫にするための工夫をしている。 友達との構想や意見を取り入れながら、よりよい構想を具体化している。	自分の生活を振り返り、問題点を見つけて改善するためにさまざまな情報を収集し、自分の製作品を考えようとしている。
	11	3	材料と加工の技術による問題解決	使用目的や使用条件に即した機能と構造について考えること。 構想の表示方法を知り、製作図をかくことができること。	等角図やキャビネット図、第三角法の描き方、寸法線や寸法補助線などについての知識を正確に身につけている。 製作品の構想を等角図、キャビネット図および第三角法などで描き表すことができる。	製作品を使う場所や使いやすさ、形や大きさ、丈夫にするための工夫をしている。 友達との構想や意見を取り入れながら、よりよい構想を具体化している。	自分の生活を振り返り、問題点を見つけて改善するためにさまざまな情報を収集し、自分の製作品を考えようとしている。
	12	3	材料と加工の技術による問題解決	使用目的や使用条件に即した機能と構造について考えること。 構想の表示方法を知り、製作図をかくことができること。	等角図やキャビネット図、第三角法の描き方、寸法線や寸法補助線などについての知識を正確に身につけている。 製作品の構想を等角図、キャビネット図および第三角法などで描き表すことができる。	製作品を使う場所や使いやすさ、形や大きさ、丈夫にするための工夫をしている。 友達との構想や意見を取り入れながら、よりよい構想を具体化している。	自分の生活を振り返り、問題点を見つけて改善するためにさまざまな情報を収集し、自分の製作品を考えようとしている。
		3	生物育成の技術による問題解決	目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができること。	育成する生物の各成長段階における肥料、管理作業、必要な資材、用具、設備などについて、その生物が育つための条件に合わせた、正確な知識を身につけている。 育成計画と生物の成長の状況を見ながら、適切な資材や用具を用いて、周囲の環境も配慮しながら合理的な管理作業ができる。	成長の変化をとらえ、育成に応じて適切な対応を考えて、工夫できる。	生物を育てる目的を考え、目的に沿った育成条件と管理作業を調べ、育成計画を立てようとしている。
	1	3	材料と加工の技術による問題解決	工具や機器の適切な使用方法を理解し、作業計画に基づいて、安全に作業ができる。	材料に応じた工具の使用法を理解する。 工具の特徴を正しく理解する。 工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に使用することができる。 安全な使用法で工具を活用することができる。 工具の正しい使い方を説明することができる。	材料の特徴、利用方法、適した加工法を考えることができる。	安全に気を付けてすすんで作業に取り組もうとしている。 工具の使い方を正しく理解し、活用しようとしている。
3 学期	2	3	材料と加工の技術による問題解決	工具や機器の適切な使用方法を理解し、作業計画に基づいて、安全に作業ができる。	材料に応じた工具の使用法を理解する。 工具の特徴を正しく理解する。 工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に使用することができる。 安全な使用法で工具を活用することができる。 工具の正しい使い方を説明することができる。	材料の特徴、利用方法、適した加工法を考えることができる。	安全に気を付けてすすんで作業に取り組もうとしている。 工具の使い方を正しく理解し、活用しようとしている。
	3	2	社会の発展と材料と加工の技術 社会の発展と生物育成の技術	材料と加工の技術の適切な評価・活用について考えること 生物育成の技術の適切な評価・活用について考えること	材料と加工の技術が社会や環境に果たしている役割と影響についての知識を身につけている。 生物育成の技術が社会や環境に果たしている役割と影響についての知識を身につけている。	材料と加工の技術を環境的側面から比較・検討し、適切な解決策を示している。 生物育成の技術を環境的側面から比較・検討し、適切な解決策を示している。	材料と加工の技術の役割や影響をすすんで調べ、社会的、環境的および経済的側面などから比較・検討しようとしている。 生物育成の技術の役割や影響をすすんで調べ、社会的、環境的および経済的側面などから比較・検討しようとしている。
合計		35	評価方法		・定期考査 ・ワークシート、レポート ・製作品 ・作業観察記録	・定期考査 ・ワークシート、レポート ・製作品 ・作業観察記録	・振り返りシート ・ワークシート